



鉋を使った実習が始まりました。早く木を削ってみたい気持ちをぐっところえて、まずは台の調整から学びます。



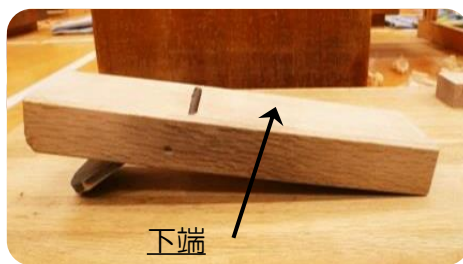
これが木工技術科で使用する鉋です。

ひらだいかな

『平台鉋』が正しい名称ですが、略して

ひらだい ひらがんな

『平台』や『平鉋』と呼ばれたりもします。



するすると気持ちよく木材を削っているイメージが定着している鉋ですが、削れるようにするには“下端（したば）”と呼ばれる台の裏側を0.01mm単位で調整する必要があります。

《 鉋の下端調整の仕方 》



鉋の下端を「台直し鉋」という専用の鉋を使い、ごく僅かな量を削りながら調整をします。



削ったら、楡でできた定規を当てて光に透かし、そこから僅かに漏れ出た光の量で下端の状態を確認します。

下端の調整はとてもシビアで難しい技術。一朝一夕で習得できると思うなかれ！



(むう、、、どこがどう狂っているのか分からん。。。)

次回は実際に自分たちで調整した鉋で、材料を削ってみます。

下端調整ができていない鉋は一本の材料をすりと削ることができず、実際に削ってみるとよく分かります。下端調整は最も苦勞するところの一つです。

